



MUKAISHIMA J.H.S., TUESDAY, JUNE, 29, H30

いよいよ平成30年度「広島版『学びの変革』アクションプラン」の全県実施の年となりました。本年度は研究も生徒主体の授業となるように先生方の協力のもと取り組んでいきたいと考えています。まだまだ研究主任2年目で迷惑をかけることもあるかもしれませんが、生徒が主体的に授業に取り組み、自分の可能性を伸ばしていけるように頑張りましょう。さて、本年度の研究主題は、以下の通りとします。

今年度の研究主題

生徒が主体的に学びに向かう授業づくり
～課題設定の工夫を通して～

昨年は思考の場面での**協働的で探求的な学び**がテーマでしたが、今年度は、昨年度の課題として先生方に考えていただいた**課題設定**に焦点を当ててこの一年間取り組んでいこうと考えています。

具体的には、以下の3点を重点的に取り組んでいただきたいと思います。

- 【単元開始前】 **単元を通して生徒にどのような力を付けたいか、単元で育成する資質能力を整理する。** 単元を通して生徒に付けたい力と資質能力を毎時間の授業のどのような活動で育成したいかというのを先生方に単元構想図【指導案参照】という形で整理していただきます。
- 【単元学習中】 単元構想図で作成した毎時間の授業計画をもとに授業を行います。毎時間の授業で**めあてに対する振り返りを行わせませ**。自己の一時間の学びを振り返り次の学びへつなげます。
- 【単元学習後】 **P(Plan)単元構想図、D(Do)授業、C(Check)振り返り、A(Action)次の学習へ**を意識して単元のまとめを行ってください。



Education is what remains after one has forgotten what one has learned in school.